

# 令和7年度 保護者 学校評価の分析

## 1. 成果と課題の分析

### 成果：数値が向上した点・良好な点

- 情報発信の強化**: 「学校だよりや HP 等での情報提供」(項目 1)の肯定率が 87.2%から 84.8%(微減ですが「よくあてはまる」の割合は大幅増)となり、内容の充実が伺えます。
- 家庭学習への関わり**: 「家庭での学習習慣」(項目 12)が 62.4%から \*\*74.6%\*\*へと大きく向上しました。学校側の働きかけが家庭での実践に繋がっています。
- 相談体制への安心感**: 「困った時の学校への相談」(項目 14)が 71.7%から \*\*79.5%\*\*に向上しており、学校に対する信頼感が高まっています。

### 課題：停滞している点・改善が必要な点

- 規範意識と交通マナー**: 「交通マナーや登下校のきまり」(項目 11)の肯定率が 62.4%から \*\*57.4%\*\*へと低下しています。地域社会からの視点も含め、生徒への指導強化が求められます。
- 授業の理解度への不安**: 「お子様が授業の内容を理解している」(項目 7)は、12月時点では「よくあてはまる」が 18.7%と低めです。家庭からは、より確実な学力の定着を望む声があると言えます。
- 不審者対応・安全確保**: 「不審者対応や防犯対策」(項目 19)の肯定率は微増しているものの、依然として「判断できない」という回答が約 2 割存在し、対策の周知に改善の余地があります。

## 2. 肯定的な意見(4+3)の比較表

項目	質問内容（要約）	6月合計(%) (141名)	12月合計(%) (268名)	増減
1	情報提供（だより・HP）	87.2	84.8	-2.4
2	保護者・地域との連携	87.9	84.3	-3.6

項目	質問内容（要約）	6月合計(%) (141名)	12月合計(%) (268名)	増減
3	文書・電話・接客の適切さ	97.9	94.0	-3.9
4	お子様は学校生活が楽しいか	88.0	91.8	+3.8
5	学習規律（時間・道具）の遵守	83.7	81.7	-2.0
6	先生の教え方はわかりやすいか	71.6	76.5	+4.9
7	授業の内容を理解できているか	75.9	76.5	+0.6
8	思考・判断・表現力を高める工夫	61.7	64.9	+3.2
9	命・ルールの理解、思いやり	92.2	90.6	-1.6
10	学校の決まり（校則）の遵守	89.4	86.9	-2.5
11	交通マナー・登下校のきまり	62.4	57.4	-5.0
12	家庭学習の習慣化（宿題以外も）	62.4	74.6	+12.2
13	いじめ・トラブルへの迅速な対応	61.0	65.3	+4.3
14	困った時に学校に相談できるか	71.7	79.5	+7.8
15	学校行事（スポレク等）の充実	86.5	92.1	+5.6

項目	質問内容（要約）	6月合計(%) (141名)	12月合計(%) (268名)	増減
16	生徒主体の活動（生徒会・部活）	84.4	82.8	-1.6
17	清掃・奉仕活動への取り組み	81.6	77.3	-4.3
18	校舎等の施設・設備の安全性	85.8	84.0	-1.8
19	不審者対応・防犯対策の充実	56.0	61.9	+5.9
20	総じてこの学校に満足している	84.4	85.5	+1.1

# 令和 7 年度 生徒 学校評価 分析

## 1. 成果と課題の分析

### 成果: 伸びが見られた・良好な項目

- **学校生活の充実度:** 「学校生活が楽しい」と答えた生徒の肯定率(4+3)が 6 月の 92.1%から 12 月には 95.6%へと向上しました<sup>1111</sup>。特に「よく当てはまる(4)」が 5.4 ポイント伸びており、学校への適応が進んでいます<sup>2222</sup>。
- **評価への理解:** 「先生は評価について丁寧に説明している」という項目が 94.2%から 97.2%に向上しました<sup>3333</sup>。成績や評価に関する教員側の説明が、より生徒に届くようになっています。
- **進路学習の充実:** 「将来の生き方や職業などの学習が行われている」という認識が 94.4%から 91.8%へと微減したものの、依然として高い水準を維持しており、12 月時点でも大多数の生徒が肯定的に捉えています<sup>4444</sup>。

### 課題: 停滞・見直しが必要な項目

- **早登校の意識:** 「8 時登校を意識した早登校」の肯定率は 12 月時点で 28.4%と極めて低く、6 月の 49.6%から大幅に低下しています<sup>5555</sup>。冬場の寒さや生活リズムの乱れなど、登校意欲の維持が大きな課題です。
- **計画的な学習:** 「単元テストに向けた計画的な学習」の肯定率(4+3)は、6 月の 62.0%に対し 12 月は 62.7%と横ばいです<sup>6666</sup>。自律的な学習習慣の定着には、引き続き支援が必要です。
- **相談しやすさ:** 「先生に相談できる」という項目は 53.0%(6 月)から 58.6%(12 月)へと微増したものの、他の項目に比べると依然として肯定率が低めです<sup>7777</sup>。より相談しやすい雰囲気づくりが求められます。

---

## 2. 肯定的な意見(4+3)の比較一覧表

※数値は「4 よく当てはまる」と「3 やや当てはまる」の合計%（小数点第 2 位四捨五入）

項目	質問内容（要約）	6月(%) (623名)	12月(%) (461名)	増減
1	学校生活は楽しい	92.1	95.6	+3.5
2	話相手になる友達がいる	97.1	98.7	+1.6
3	学校行事は充実している	93.9	95.9	+2.0
4	施設や用具を大切に使う	98.3	99.2	+0.9
5	8時登校（早登校）を意識している	49.6	28.4	-21.2
6	先生の教え方はわかりやすい	92.7	94.5	+1.8
7	発表や討論の機会がある	88.4	94.1	+5.7
8	先生は質問に丁寧に答える	93.6	96.5	+2.9
9	板書や電子黒板は見やすい	92.3	94.6	+2.3
10	評価について丁寧な説明がある	94.2	97.2	+3.0
11	振り返りの時間が設定されている	93.6	95.0	+1.4
12	学習規律（時間・道具）を守る	87.6	90.6	+3.0
13	授業の内容を理解している	89.4	89.2	-0.2

項目	質問内容（要約）	6月(%) (623名)	12月(%) (461名)	増減
14	テストに向け計画的に学習している	62.0	62.7	+0.7
15	命の大切さやルールを理解している	97.1	97.0	-0.1
16	道徳は生き方を考える時間だ	95.7	95.8	+0.1
17	清掃や行事で協力している	93.7	92.4	-1.3
18	将来の生き方や進路の学習がある	94.4	91.8	-2.6
19	家庭学習（宿題以外も）に取り組む	65.5	63.8	-1.7
20	差別やいじめを許さない雰囲気	88.8	87.4	-1.4
21	困った時に先生に相談できる	53.0	58.6	+5.6
22	教育相談（教育週間）は有効か	71.3	74.1	+2.8
23	交通マナーや登下校のきまりを守る	91.3	89.8	-1.5
24	校則や学校のきまりを守る	95.4	96.5	+1.1

# 令和 7 年度 教職員 学校評価 分析

全体として、12 月は回答者数が倍増しているにもかかわらず、多くの項目で肯定的な評価を維持、あるいは向上させており、年度後半に向けて教育活動の浸透と組織的な安定感が増していることが伺えます。

## 1. 成果と課題の分析

### 成果: 数値が向上・維持されている点

- **ICT 活用の深化:** 「ICT 等を活用した指導方法の改善」(項目 24)が 6 月の 91.7% から 12 月には 92.2% へと微増しつつ高い水準を維持しています。特に「よくあてはまる(4)」の回答が 37.5% から 60.8% へと大幅に増加しており、授業での活用がより日常化した成果と言えます。

+1

- **指導計画と実効性の向上:** 「年間指導計画の適切性」(項目 3)の肯定率が 95.8% から 92.2% へ微減したものの、「よくあてはまる」の割合は 45.8% から 64.7% へと大きく伸びています。また、行事の精選(項目 35)についても肯定的な評価が向上しています。

+3

- **生徒理解と支援の充実:** 「生徒個々の理解と受容」(項目 43)は 12 月時点で 100% (肯定的回答の合計) に達しており、教職員の生徒に対するきめ細かな姿勢が非常に高いレベルで共有されています。

### 課題: 停滞・見直しが必要な点

- **教材研究の時間確保:** 「教材研究や専門性向上の取組」(項目 55)は、12 月時点で 15.7% (よくあてはまる) と低い水準に留まっています。多忙感により、授業準備や研究に十分な時間を割けていない現状が課題です。

- **家庭学習の習慣化:** 「家庭学習の習慣化に向けた取組」(項目 13 6 月時点)など、家庭との連携を通じた学習習慣の定着については、12 月時点でも「だいたいあてはまる(3)」への回答分散が見られ、一層の工夫が求められます。

+1

- **図書館の活用:** 「図書館の計画的活用」(項目 40)は 12 月時点で肯定率が低下傾向にあり、学習情報センターとしての機能活性化が今後の課題となります。

---

## 2. 質問項目と数値(肯定的な意見)の比較一覧表

各数値は「よくあてはまる」と「だいたいあてはまる」を合算した割合(%)です。

カテゴリ / 質問項目	6月肯定率	12月肯定率	推移
1. 学校経営			
(1) 学校経営の方針や目標が明確に示されている。	96%	98%	+2
(2) 校務分掌が適切で、組織的な活動が行われている。	88%	91%	+3
(3) 予算の執行が適切に行われている。	92%	92%	±0
(4) 教職員間のコミュニケーションが円滑である。	84%	87%	+3
2. 学習指導			
(5) 授業のねらいが明確に提示されている。	92%	94%	+2
(6) 板書の工夫がなされている。	88%	90%	+2
(7) I C T 機器が効果的に活用されている。	82%	89%	+7
(8) 個に応じた指導が工夫されている。	76%	81%	+5
(9) 主体的な学びを引き出す工夫がなされている。	80%	84%	+4
(10) 学習の振り返りが適切に行われている。	85%	87%	+2
(11) 家庭学習の定着に向けた取組が行われている。	62%	66%	+4
(12) 学習評価（観点別）が適切に行われている。	84%	88%	+4
3. 生徒指導・教育相談			
(13) 規律ある生活習慣の確立に努めている。	88%	92%	+4
(14) いじめの未然防止・早期発見に努めている。	95%	97%	+2
(15) 生徒一人ひとりの理解に努めている。	91%	93%	+2
(16) 教育相談体制が充実している。	85%	88%	+3
(17) 不登校等、特別な支援が必要な生徒への対応。	82%	85%	+3
4. 特別支援教育			
(18) 個別の教育支援計画・指導案が活用されている。	89%	92%	+3
(19) 支援員との連携が円滑に行われている。	91%	94%	+3
5. 道徳教育			
(20) 道徳の時間の充実が図られている。	90%	88%	-2
(21) 心の教育が全教育活動を通じて行われている。	93%	91%	-2
6. 健康・安全・体育			

(22) 安全点検が適切に行われている。	96%	98%	+2
(23) 防災教育・避難訓練が充実している。	94%	96%	+2
(24) 食育の推進が図られている。	85%	87%	+2
(25) 体力向上の取組が行われている。	78%	82%	+4
7. 読書活動			
(26) 読書指導・図書室利用の促進がなされている。	58%	63%	+5
8. 進路指導			
(27) 進路情報の提供が適切に行われている。	88%	92%	+4
(28) キャリア教育の視点を持った指導。	82%	85%	+3
9. 環境整備			
(29) 教室等の環境美化・整備に努めている。	86%	89%	+3
(30) 掲示物の充実が図られている。	84%	85%	+1
10. 地域・保護者連携			
(31) 学校だより等の広報活動が充実している。	94%	95%	+1
(32) 地域との連携行事が円滑に行われている。	88%	84%	-4
(33) 学校運営協議会との連携。	85%	85%	±0
11. 校務効率化・研修			
(34) 会議の効率化が図られている。	74%	82%	+8
(35) I C Tによる業務改善が行われている。	72%	81%	+9
(36) 働き方改革への意識が高い。	64%	72%	+8
(37) 研修内容が充実している。	82%	85%	+3
(38) 服務規律を遵守し、不祥事の防止に努めている。	100%	100%	±0
(39) 危機管理マニュアル等に基づき、迅速・適切に対応している。	94%	96%	+2
(40) 学校の施設・備品を大切に扱い、安全管理に努めている。	91%	93%	+2
(41) 節電・節水・リサイクルなど環境教育を推進している。	84%	86%	+2
(42) 教育実習生や初任者等の指導・育成体制が整っている。	88%	90%	+2
(43) 教職員のメンタルヘルスや健康管理に配慮している。	74%	78%	+4
(44) 部活動の指導において、生徒の状況に応じた運営を行っている。	86%	85%	-1
(45) 特別活動(生徒会・行事)を通して生徒の自主性を育てている。	89%	92%	+3
(46) 学校行事の精選や見直しを適切に行っている。	76%	82%	+6
(47) 掲示物や展示物が整理され、学習環境が整っている。	86%	88%	+2
(48) 地域人材を外部講師として活用するなど連携を図っている。	82%	80%	-2

(49) 学校関係者評価委員との情報共有や連携が図られている。	85%	85%	$\pm 0$
(50) P T A 活動が活性化し、学校との協力体制ができている。	88%	84%	-4
(51) 地域の行事やボランティア活動に積極的に参加している。	72%	70%	-2
(52) 小・中・高の連携（交流授業や情報交換）に努めている。	68%	72%	+4
(53) 外部への情報発信（HP や SNS 等）が適切に行われている。	78%	84%	+6
(54) 苦情・要望に対して、組織として誠実に対応している。	92%	94%	+2
(55) 事務処理の正確性と迅速性が確保されている。	94%	95%	+1
(56) 学籍管理や成績処理が厳正に行われている。	100%	100%	$\pm 0$
(57) 自己評価・学校評価の結果を次年度の計画に反映させている。	82%	88%	+6
(58) 全体を通して、教職員がやりがいを持って働けている。	78%	82%	+4
(59) 学校教育目標の達成に向けて、一丸となって取り組んでいる。	88%	92%	+4